

2021年11月5日

各 位

会 社 名 株式会社ツカダ・グローバルホールディング  
 代表者名 代表取締役社長 塚田 正之  
 (コード：2418 東証第1部)  
 問合せ先 財務経理部長 山崎 誠広  
 (TEL：03-5464-0081)  
 (URL <https://www.tsukada-global.holdings>)

2021年12月期 通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2021年8月6日に公表しました2021年12月期(2021年1月1日～2021年12月31日)の通期連結業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 2021年12月期通期連結業績予想数値の修正(2021年1月1日～2021年12月31日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	38,000	△2,900	△2,610	△2,510	△52円62銭
今回修正予想(B)	32,500	△6,970	△6,680	△5,820	△122円01銭
増減額(B)－(A)	△5,500	△4,070	△4,070	△3,310	
増減率(%)	△14.5	－	－	－	
(ご参考)前期実績 (2020年12月期実績)	27,114	△11,476	△11,227	△10,628	△222円82銭

2. 修正理由

婚礼事業において、新型コロナウイルス感染症再拡大により2021年7月に発出された4回目の緊急事態宣言が9月30日まで延長されたことから、受注済みでありました婚礼施行が来期以降に延期されたこと、また、1組当たり平均ゲスト数が減少したことにより下半期の売上高が大幅に減少することとなりました。

また、ホテル事業においては、東京オリンピックが無観客開催となり、一部の店舗において開催期間中は一定の収益確保ができましたが、前述の通り新型コロナウイルス感染症再拡大の影響により、総じて低稼働のまま推移し売上高は減少いたしました。

第4四半期に入り緊急事態宣言は解除されましたが、婚礼事業においては受注から婚礼施行まで一定の準備期間を要する事業であり、また、ホテル事業においては海外からの渡航制限がある中、当期においては売上高の伸びは限定的と考えております。

利益面については、婚礼事業において1組当たり平均ゲスト数の減少により収益率が減少したことから営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益は下回ることとなりました。

## 3. 補足情報（施行及び受注の状況）

（件数）

セグメント	前第3四半期連結累計期間 (2020年3Q)			当第3四半期連結累計期間 (2021年3Q)			前連結会計年度 (2020年4Q)		
	受注数	施行数	受注残	受注数	施行数	受注残	受注数	施行数	受注残
婚礼事業	3,462	3,082	6,898	5,580	4,376	7,542	4,864	5,044	6,338
ホテル事業	597	403	1,225	1,006	761	1,423	864	717	1,178
合計	4,059	3,485	8,123	6,586	5,137	8,965	5,728	5,761	7,516

（注）上記業績予想につきましては、本日現在において入手可能な情報に基づき作成されたものであり、実際の業績は、今後様々な要因により異なる可能性があります。今後、業績予想数値の修正が必要と判断される状況となった場合には速やかに開示いたします。

以上